

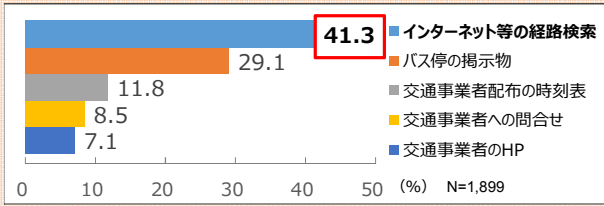
経路検索におけるバス情報の充実に向けた取組

前国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課 地域振興室長 角湯 克典
 前国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課 専門官 佐藤 寛信
 国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課 和田 庄平

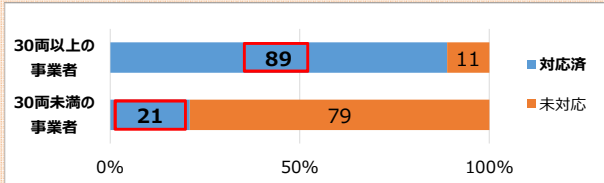


公共交通政策部ゆるキャラ
のりたろう

現状



▲路線バスの経路等を調べる際の情報取得先
(平成28年12月内閣府世論調査)



▲バス事業者の経路検索対応状況
(平成28年4月公共交通政策部調べ)

○インターネット等の経路検索は広く利用されているが、鉄道や大手バス事業者はほとんどが検索対象となっている一方、**中小バス事業者は対象から外れている**ケースが多いのが実情。

鉄道・バス等のシームレスな案内を実施

意識することなくバスが案内され
利用者はバスの存在を自然に認識

＝バスがヒットしなかった場合、
バスは存在しないものとして認識される



Apple Mapsにおける「東京駅→秋田運輸支局」の検索例▲

背景と課題

【中小バス事業者】



○時刻表データ等の電子化未対応。

○要求される形式がCPにより異なり対応が困難。

【経路検索サービス(CP※)側】

○電子化対応に多大な労力が発生。

○提出される形式が事業者により各様であり対応が困難。

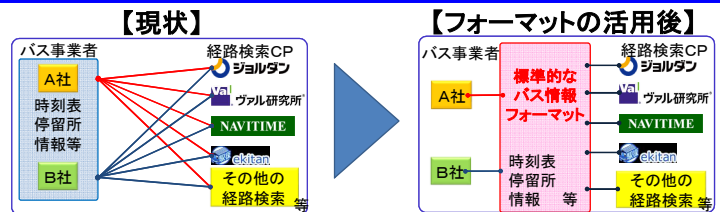


⇒双方が効率的に情報を収集・共有できる仕組み等が必要。

※CP…コンテンツプロバイダー(経路検索サービス提供者)

標準的なバス標準フォーマットの作成

- 平成28年12月～翌年3月の間に「バス情報の効率的な収集・共有に向けた検討会」を開催。
- 事業者とCPが情報のやりとりをスムーズに行えるように「**標準的なバス情報フォーマット**」を作成。



- 【形式】
- 専門的な知識がなくても、**取扱が容易**で、停留所・時刻表等の情報の電子化等、自社業務への利活用が可能となる**CSV形式のフォーマットを基本形式**とする。

- 【対象】
- スモールスタート**で早期にフォーマットを確立する観点から、当面、**一般路線バスの基本的な案内**を行うことができる項目に絞る。
- 経路検索等で必要**となる項目、**日常業務の省力化**等に繋がる項目を基本としつつ、**情報利用者のニーズについても、可能な範囲で対応**した項目とする。



【検討会の様子】

これからの動き

- フォーマットの利活用による事業者等における**効果測定**
 …本フォーマットを特定のエリアで実際に活用し、その効果の測定を想定。
 効果測定の観点としては、可能な範囲で、集客や収入の増分や作業効率の把握、経路検索サービスにおける利用者数等を想定。
- フォーマットの利活用を通じた**データ項目等の見直し**
 …実際にフォーマットを活用した事業者やCPからの意見等を踏まえ、新たな課題や、必要なデータ項目等について検討を想定。
 また、「標準的なバス標準フォーマット」に必要なデータ項目は、Google Mapsにおける経路検索を可能とする項目を満たしている仕様のため、実際の運用等を実施する予定。